

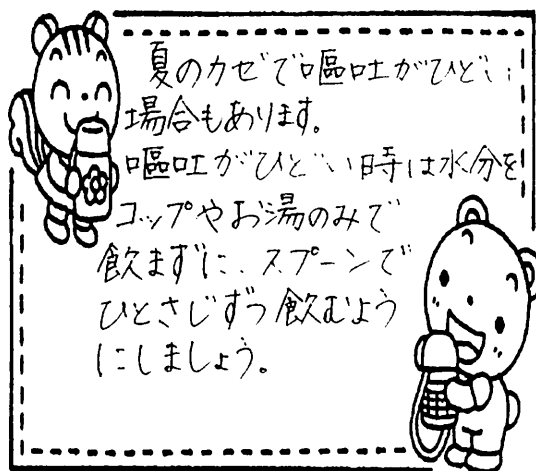


夏によく見られるカゼについて

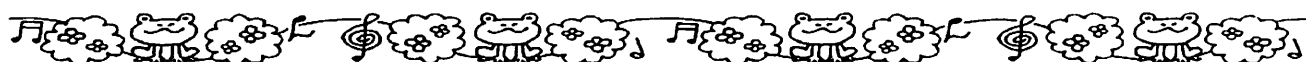
- 夏のカゼは①高熱 ②頭痛 ③お腹の症状(腹痛・下痢・嘔吐) ④発疹(手足や口の中・体)などが特徴です。
- 夏のカゼの代表はヘルパンギーナ・手足口病・アデノウイルスなどです。

- 一方、冬のカゼは①咳②鼻水③発熱がみられる事が多いです。冬のカゼの代表選手は、RSウイルス感染症・インフルエンザなどです。
- しかし最近では病気にも季節感がなくなっていて、夏でも冬のカゼのような症状がみられる事もあります。

※夏のカゼは通常の場合、2~3日で自然と良くなります。抗生物質は必要ありません。症状が良くなれば登園可能です。ただ、原因のウイルスは、数週間、便や口唾液の中にいます。日頃から手洗いをまめにし、手に付いているウイルスが、口の中に入らないようにいかけましょう。



夏のカゼで嘔吐がひどい場合もあります。嘔吐がひどい時は水分をコップやお湯のみで飲まずに、スプーンでひとさじずつ飲むようにしましょう。



病時保育室の利用が

Webで予約できるようになりました



- 福岡市内にお住まいの方は、病児保育室の予約をWebで手続きができるようになりました。夜間の予約も可能となり、月曜日や休日の翌日の予約も可能になりました。
- 福岡市外にお住まいの方、登録番号が不明な方は、今まで通りご利用当日の朝、8:15以降に病児保育室までお問い合わせ下さい。



福岡市病児・病後児ケア事業実施施設
病児保育室ぐうぐう
〒812-0879 福岡市博多区祖国町1-2-11

空メール送信でメールアドレスを登録してください

googoo@hoiku.net489.jp



バックナンバーはホームページでご覧になれます

<http://www.takagishi-googoo.com/>